

次の文章は、高齢者向け集合住宅「ふあんホーム天王町」で介護士として働く「山田花」が、入居者の「大久保八重」のために同僚の「篠田」や入居者の「菊池サチ」、「稔」たちと協力して、施設の食堂でランチ会を行う場面です。これを読んで、(1)～(6)に答えなさい。

(注)

久里浜花の国——「八重」が以前、家族と出かけた場所。「花」と「篠田」がランチ会のためにコスモスの鉢植えを買いに行った。

花子さん——「花」は施設以外の友人からは「花子」と呼ばれている。

みすず——「八重」の娘。

莉子——「八重」の孫。

黒子——歌舞伎などの舞台で演者の手助けをする人。転じて、目立たないように仕事をする人のこと。

(1) ——の部分④を漢字に直して楷書で書きなさい。また、——の部分⑤の漢字の読みを書きなさい。

(2) 「花は自分を……じんとしびれる」とありますが、このときの「花」の心情を説明したものとして最も適当なのは、ア～エのうちではどれですか。
一つ答えなさい。

ア 「八重」に今まで気を使わせていたと気づき、自分がふあんホームの一員として認められていなかったことが悲しい。

イ 「八重」が遠慮よりも感謝の気持ちを伝えてくれたことで、自分は大切な存在だと認められたように感じてうれしい。

ウ 「八重」の唇の動きだけで感謝の気持ちを察することができ、自分自身の介護士としての成長を実感できて喜ばしい。

エ 「八重」に予想以上に喜んでもらえたが、自分は施設のスタッフの一人に過ぎないため、目立つことが恥ずかしい。

(3) 「本気でとまどう花」とありますが、このときの「花」がとまどった理由を説明した次の文の [] に入れるのに適切なことばを、文章中から十一字で抜き出して書きなさい。

「花」は、「サチ」に「カイゴの花」の意味を説明され、 [] のことだと言われたが、その比喻の意味を取り違えてしまい、どのような人のことか理解できなかったから。

(4) 「目を細めて」のここでの意味として最も適当なのは、ア～エのうちではどれですか。一つ答えなさい。

ア 冷たい態度を取る

イ 驚きあきれてしまう

ウ 見て見ぬふりをする

エ ほほえましく感じる

(5) 「花は胸のあたりをギュッとつかんだ」とありますが、このときの「花」の心情を説明した次の文の [] に入れるのに適切なことばを、三十五字以内で書きなさい。

これからの自分自身のあり方として、 [] という、自分の強みを生かした目指す介護士の姿を自覚し、新たな決意が芽生えている。

(6) この文章の表現の特徴について説明したものととして適当でないのは、ア～エのうちではどれですか。一つ答えなさい。

ア 「優しい色合い」や「レースのようにふわふわ」と表現された八重咲きのコスモスは、「花」が思う「八重」の愛される人柄を象徴している。

イ 「私が笑う？ ですか？」と「？」を連続して使用する表現は、「花」が「サチ」の発言したことばの内容を疑問に思う様子を強調している。

ウ 「その頬が茹でダコと同じくらい赤く染まっている」という表現は、「花」への期待を素直に表せない「サチ」の照れた様子を印象づけている。

エ 「ぽんと肩を叩いてきた」という表現は、「稔」の発言に返答せず、呆然としたままの「花」の様子をとがめる「篠田」の心情を暗示している。

2

次の文章は、『徒然草』^{つれづれぐさ}についての解説文です。これを読んで、(1)～(5)に答えなさい。

(注)

応長年間——鎌倉時代後期。

顛末——物事のはじめから終わりまでの事情。

巷間にはびこる——世間に広がる。

研鑽——学問などを深く研究すること。

流言蜚語——世間で飛び交う根拠のない噂。

虚栄心——自分を実際以上に見せようとみえを張る心。

(出典 三木紀人『図説「無常」の世を生きぬく古典の知恵! 方丈記と徒然草』)

(1) 「おほく」の読みを、現代かなづかいを用いてひらがなで書きなさい。

(2) 「世に語り伝ふる事」とありますが、その具体例を、解答欄に合うように解説文から十一字で抜き出して書きなさい。

(3) 「嘘のプロセスと定着、そしてその対応方法」とありますが、このことについて説明した次の文の X、Y に入れるのに適当なことを、
X は五字、Y は十七字で、それぞれ解説文から抜き出して書きなさい。

ある話題が X されて書き記されることで真実のように伝わってしまうので、世の中には Y ものだと考えておけばよい。

(4) 「この達人とは兼好のことかもしれない」とありますが、ここでは筆者が兼好のどのような点を「達人」と考えているのか説明したものととして、最も適当なのは、ア～エのうちではどれですか。一つ答えなさい。

ア 噂の真相を確かめるため、実際の現場に向いて検証し、噂を広げた人物を特定した点。

イ 当時のできごとを記録しつつ、人々の様子を考察し、未来の社会にも思いを巡らせた点。

ウ 様々な章段で嘘や噂を取り上げ、人々の行動や反応を説明し、人間の内面を見抜いた点。

エ 「達人の眼」について説明した上で、世間の噂話を利用し、言葉巧みに人の心性を操る点。

(5) 解説文を授業で学習した鈴子さんは、考えたことを次のようにノートにまとめました。X、Y に入れることばの組み合わせとして最も適当なのは、ア～エのうちではどれですか。一つ答えなさい。

【鈴子さんのノートの一部】

私はこの解説文を読んで、『徒然草』から読み取れる人の様子やものの考え方は現代にも通じていると感じました。まず、兼好が自分の体験をきっかけに、世の中の X する姿勢は、現代でも大切なことです。また、解説文で紹介されていた第七三段を読むと、次のような記述がありました。

道々の物の上手のいみじき事など、かたくななる人のその道知らぬは、そぞろに神の如くに言へども、道知れる人はさらに信も起さず。

〈現代語訳〉 その道その道の名人の非凡なことなどについて、教養がなく、その道に疎い者は、神を語るかのように言うが、有識者は、そんな話を信じようとしなない。

この内容を読んで、様々な物事を正しく判断するためには、Y ことが必要だと感じました。だから、他の章段も読んで、当時のできごとや人に対する兼好の考え方を参考にしながら、物事を見極める力を身につけたいです。

(三木紀人『徒然草(二)』を参考に作成)

ア X…心得を比較して検討
ウ X…心得を比較して検討

Y…頑固にならず人々と協力する
Y…幅広い教養を身につける

イ X…情報を整理して分析
エ X…情報を整理して分析

Y…頑固にならず人々と協力する
Y…幅広い教養を身につける

3

次の文章を読んで、(1)～(6)に答えなさい。

(出典 真田純子^{さなだじゅんこ}『風景をつくるごはん 都市と農村の真に幸せな関係とは』)

(注)

景観法——良好な景観の形成を目的とした、国土交通省(国交省)が管轄する法律。
公聴会——関係者や専門知識をもつ人などから意見を聞くために開くもの。

水とみどりの「美の里」プラン21——個性ある魅力的な農山漁村づくりの方向性を示したもの。

(1) ——の部分④を漢字に直して楷書で書きなさい。また、——の部分⑤の漢字の読みを書きなさい。

(2) 「み」[㊦]と活用の種類が同じものは、ア～オのうちではどれですか。すべて答えなさい。

同窓会に出席する日に着ていく服を買おうかと考えていたが、兄に借りることにした。

ア——イ——ウ——エ——オ——

(3) 「地域ごとに美しさを考えるという『手続き』のみを定めた」とありますが、その理由を説明したものととして最も適当なのは、ア～エのうちではどれですか。一つ答えなさい。

- ア 景観法では、景観を主観的な美しさと捉えており、目指すべき景観を法で一律に決めるのは難しいと考えているため。
 イ 景観法では、景観計画の策定を求めているが、良好な景観を地域ごとに決めることは不可能であると考えているため。
 ウ 景観法では、各自治体の良好な景観を定義しているが、最終的には国が良好な景観を保証するべきと考えているため。
 エ 景観法では、景観の形成に各地域が協力することを求めている、景観について主観的な判断は不要と考えているため。

(4) 「前者の評価軸……呼んでおこう」とありますが、筆者が考える二つの評価軸について次の表のように整理したとき、I、IVに入れることばの組み合わせとして最も適当なのは、ア～エのうちではどれですか。一つ答えなさい。

	人本位	環境本位
関係する法律など	I	III
美しさのベース	II	IV

- ア I…景観法
 IV…現在、その地域に住む人びとの合意
 イ I…美の里プラン
 IV…自然の造形や気候風土
 ウ I…景観法
 IV…自然の造形や気候風土
 エ I…美の里プラン
 IV…現在、その地域に住む人びとの合意

(5) 「持続可能な……社会をつくる」とありますが、筆者がそのように考える理由を説明した次の文のX、Yに入れるのに適当なことばを、

X は文章中から七字で抜き出して書き、Y は四十字以内で書きなさい。

筆者は、「美しい風景」を決める人本位の評価軸の中には、時代や社会におけるXによる評価のように変化するものもあるから、人本位の評価軸を環境本位の評価軸に近づけることで、Yことができると考えているため。

(6) この文章の構成と内容の特徴について説明したものととして最も適当なのは、ア～エのうちではどれですか。一つ答えなさい。

- ア 国交省へのインタビューや農林水産省のプランの内容を引用することで、「美しい風景」を維持することが難しい根拠としている。
 イ 「美しい風景」について確認し、国が示す定義を否定する理由を論の中で展開することで、筆者の主張に正当性をもたせている。
 ウ 景観工学における風景の考え方と具体例を紹介することで、どのような風景を「美しい風景」とするか判断材料を示している。
 エ 読者が「美しい風景」を想像しやすいように都市と農村の様子を対立的に書くことで、我々の生活を変える必要性を訴えている。

四人の中学生が、日本語の特徴とその使い方について考える授業の中で、【資料Ⅰ】～【資料Ⅲ】を見ながら話し合いをしています。次の【話し合い】を読んで、(1)～(3)に答えなさい。

【話し合い】

実香 【資料Ⅰ】で、何か気になるものがあるかな。

修治 僕は、【資料Ⅰ】に示された年齢層別の割合の違いに着目してみたよ。㉑がわかるね。これは僕の

考えだけど、昔に比べて現代は、手紙を書く機会が少ないよね。そのため、比較的若い世代の人は時候の挨拶になじみが薄くなっていることが、上の年齢層より割合が低い理由の一つだと思うよ。

京子 たしかに、私もSNSなどで短いやりとりをすることがほとんどで、その時に時候の挨拶は入れないね。

私は、手紙の書き方の授業で春の時候の挨拶に関することばを調べて、「春陽」や「花冷え」などのことばを知ったよ。「花冷え」は、桜が咲く頃に一時的に寒くなることらしいよ。

実香 普段の生活ではなじみがないことばも、意味を知ると魅力が深まるね。勇紀さんは、何かあるかな。

京子さんが言った、春に関することばを聞いて、沖縄県に住む祖母と話した時のことを思い出したよ。

沖縄県では、春分から梅雨入り前までの時季を、「自然が潤い初める」という意味で「うりずん」と言うらしいんだ。これは【資料Ⅰ】のCの項目とも関連していると思うけど、どうかな。

修治 そうだね。地域によって気候や生活に様々な違いがあるから、それに合わせて、方言にもいろいろな

ことばが存在するんだね。【資料Ⅱ】と関連させると、いろいろなことばを使う意味やよさが見えてくるね。

京子 例えば、【資料Ⅰ】のAの項目は、【資料Ⅱ】の「相手の人格や考え方を尊重する態度」をことばで表すことに関連しているね。

勇紀 たしかに、いろいろなことばを使えるようになるのはいいことだね。また、【資料Ⅲ】では「言葉の使い方について気を使っていること」が挙げられているよ。つまり、日本語の特徴は様々な魅力や役割がある一方で、コミュニケーションを取る際には配慮も必要ということだね。

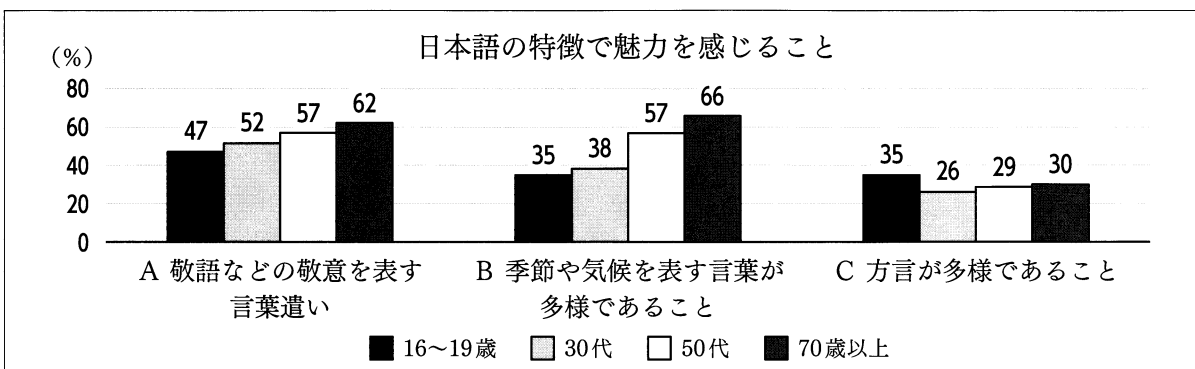
実香 では、次はそのことについて、【資料Ⅰ】のBやCの項目で考えてみようか。

(1) 【資料Ⅰ】から読み取れるものとして、㉒に入れるのに最も適当なのは、ア～エのうちではどれ

ですか。一つ答えなさい。

- ア Aの項目に魅力を感じる人は、すべての年齢層で半分を超えていて、70歳以上では62%になること
イ Bの項目に魅力を感じる人は、50代以上は半分を超えるけれど、30代以下では40%未満であること
ウ Bの項目に魅力を感じると答えた16～19歳の人は、Cの項目にも同様に魅力を感じると答えたこと
エ A～Cすべての項目で、年齢層が高くなるほど、魅力を感じると答えた割合が高くなっていること

【資料Ⅰ】



(文化庁『令和5年度 国語に関する世論調査』を参考に作成)

【資料Ⅱ】

国語の果たす役割と国語の重要性

1 個人にとっての国語

美しい日本語の表現やリズム、人々の深い情感、自然への繊細な感受性などに触れ、美的感性や豊かな情緒を養うことができる。

コミュニケーションの基本は、相手の人格や考え方を尊重する態度と言葉による伝え合いである。

2 社会全体にとっての国語

伝統的な文化を理解・継承し、新しい文化を創造・発展させるための基盤であり、社会生活を成立させ、発展させる手段として重要である。

3 社会変化への対応と国語

価値観の多様化、国際化、情報化などの、社会変化に対応するために大切である。

(文化庁 平成16年2月『これからの時代に求められる国語力について(答申)』を参考に作成)

【資料Ⅲ】

言葉の使い方について気を使っていること

- ・改まった場で、ふさわしい言葉遣いをする
- ・年齢が離れた人に意味が通じるように発言する
- ・日本語を母語としない人と適切に意思疎通を図る

(文化庁『令和4年度 国語に関する世論調査』を参考に作成)

条件

- 1 二文で書き、一文目に、B、Cどちらかの項目を取り上げて、それに関することばを使うことが、どのようなよさにつながると考えられるかを、【資料Ⅱ】を踏まえて書くこと。
- 2 二文目を「一方で、」と書き出し、【資料Ⅲ】を踏まえて、選んだ項目に関することばの使い方として気をつける状況と、必要な配慮について具体的に書くこと。

- (2) 「これは……どうかな」という勇紀さんの発言の意図として最も適当なのは、ア～エのうちではどれですか。一つ答えなさい。
- ア これまでの話し合いの中で出てきたことばの具体例は、季節や気候を表すことばであると確認している。
- イ 季節や気候を表すことばによって、方言が多様化するという根拠を資料から引用し、意見を求めている。
- ウ 沖縄県で、季節や気候を表すことばの方言として「うりずん」を使うことが信じられず、質問している。
- エ 季節や気候を表すことばの多様さは、方言の多様さにつながるかもしれないと考え、同意を求めている。
- (3) 「そのことについて……考えてみようか」とありますが、日本語の特徴とことばの使い方について、あなたはどのように考えますか。【資料Ⅰ】の項目B、Cのどちらか一つを選び、あなたの考えを条件に従って八十字以上百字以内で書きなさい。